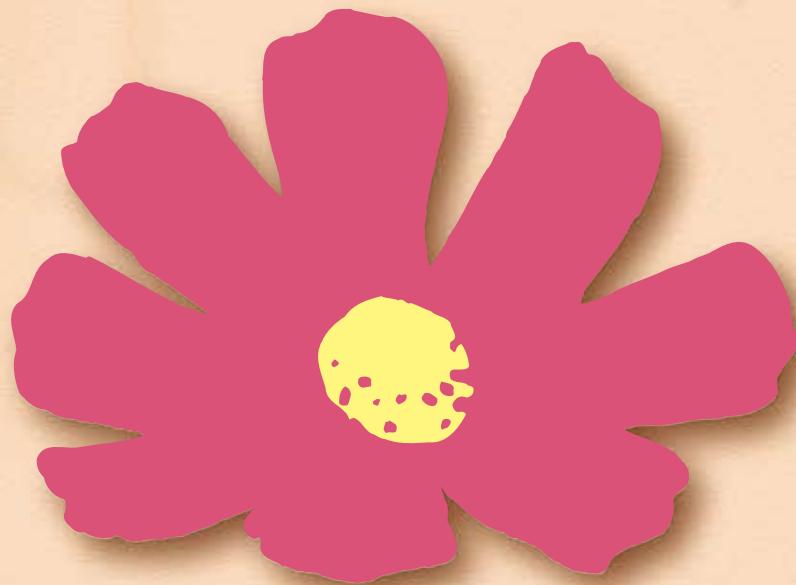




ミニ・ディスクロージャー誌

第88期 営業の中間ご報告

平成21年4月1日～平成21年9月30日

目次

ごあいさつ	2
企業理念・経営方針	3
営業の概況	4
地域コーナー	9
CSR の取組み	11
トピックス	15
財務諸表	19
役員・株式の状況	21



ごあいさつ



皆さまには、平素より千葉興業銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。
平成21年度中間期の当行の経営内容や業績、CSRの取組み等につきまして、
皆さまにご理解いただけますよう、ミニ・ディスクロージャー誌にまとめました。
ご参考にしていただければ幸いに存じます。

さて、平成21年度上半期における国内経済は、昨年の金融危機の影響もあり、
厳しい状況が続くなか、徐々に持ち直しの動きも見られるようになりました。直近の
景気基調判断では、景気は回復局面入りとも言われております。しかしながら、企業
収益や雇用情勢等は依然として低水準にあり、回復の実感は乏しい状況です。

このような経済環境のなか、当行は平成21年度期初より、中期経営ビジョン
「Change&Challenge21」に基づく戦略施策を展開し、「お客さまのマイバンク」
を目指しております。地域のお客さまのお役に立ち、お客さまにマイバンクとして
選んでいただけるよう、当行グループの総力を結集して業務に邁進してまいります。

今後とも、より一層のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成21年12月
取締役頭取・CEO 青柳俊一

当行の概要 (平成21年9月30日現在)

設 立：昭和27年1月
本 店：千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
資 本 金：579億4,189万3,949円
従 業 員 数：1,329名



[ちば興銀は、次世代認定マークを取得しています。]

企業理念・経営方針

❖ 企業理念

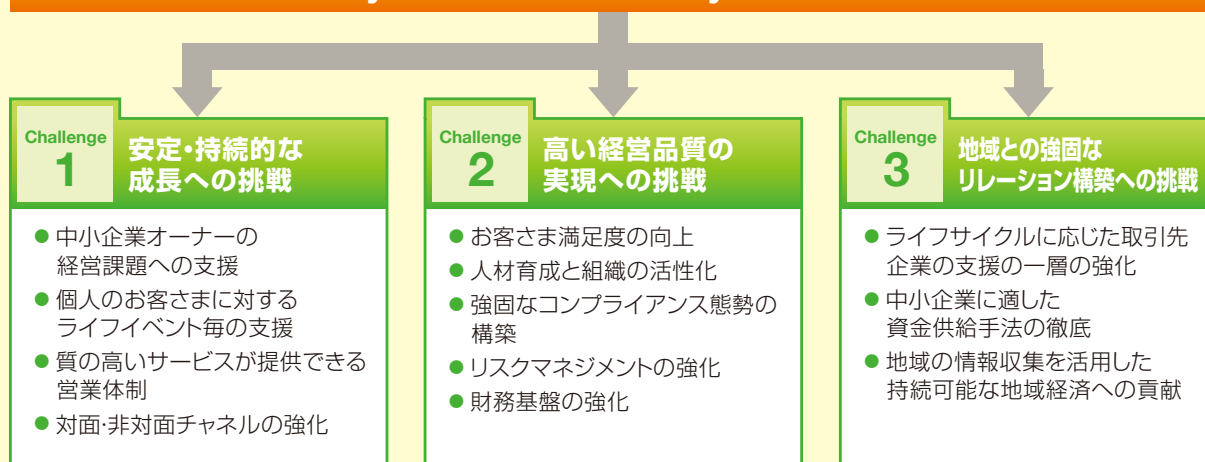
- 地域とともに** 私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、豊かなふるさとづくりに努めます。
- お客さまのために** 私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、より質の高いサービスの提供に努めます。
- 「親切」の心で** 私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、親切ナンバーワンをめざします。

❖ 経営方針

平成21年度、平成22年度の2ヵ年におきましては、新中期経営ビジョン『Change & Challenge 21』に基づき、《Challenge 1: 安定・持続的な成長への挑戦》《Challenge 2: 高い経営品質の実現への挑戦》《Challenge 3: 地域との強固なリレーション構築への挑戦》の3つの経営課題に取り組んでおります。全行員・スタッフが丸となって業務に邁進し、『お客さまのMy Bank』を目指してまいります。

◆ 新中期経営ビジョン(Change & Challenge 21)

目指す姿：『お客さまのMy Bank』…お客さまにMy Bankとして選んでいただくために



営業の概況

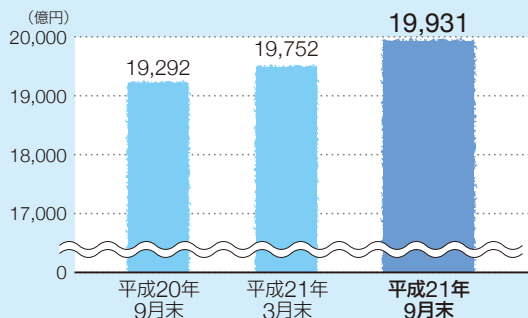
グラフ等に記載の計数及び解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

預金・貸出金等の状況

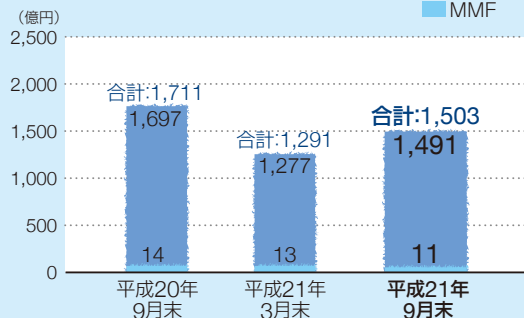
総預金の当中間期末残高は、平成21年3月末比179億円増加し1兆9,931億円となりました。個人預金については、「マリーナズ応援団定期」や退職金をお預入れの対象とした特別金利定期預金「ハッピーステージ」がご好評いただき、平成21年3月末比129億円の増加となりました。

投資信託の預資産残高は、212億円の増加となりました。

●総預金残高 ※総預金残高には譲渡性預金を含めております。

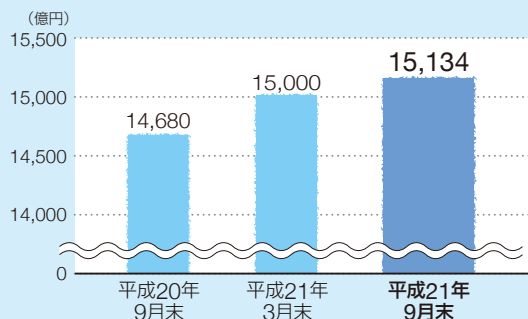


●投資信託残高

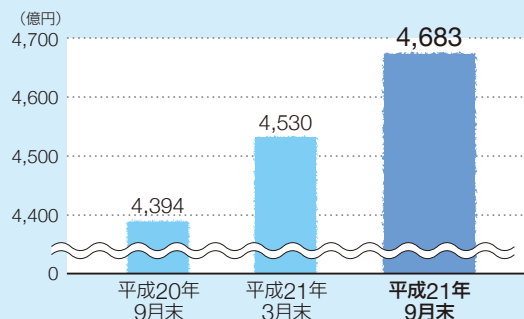


当中間期末の貸出金残高は、お取引先とのリレーション強化と、新規収益機会の獲得に重点を置いた渉外活動を展開した結果、平成21年3月末比134億円増加し1兆5,134億円となりました。また、住宅ローンについては、販売体制強化による顧客層の拡大に努めたほか、相談会開催等によりお客さまの借換えニーズへの積極的な取組みを図ったことにより、住宅ローン残高は4,683億円と平成21年3月末比153億円の増加となりました。

●総貸出金残高



●住宅ローン残高

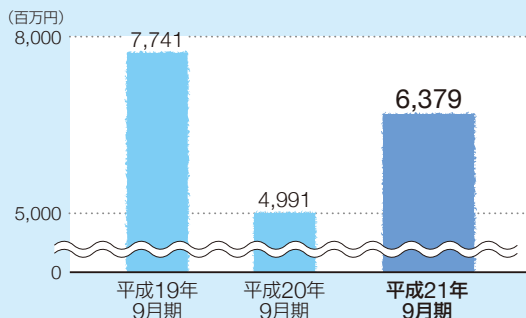


■ 損益の状況

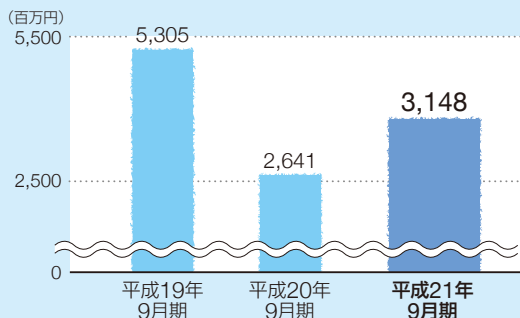
市場環境の好転の影響等により国債等債券損益が改善したほか、コスト管理の強化により物件費を中心に経費が減少したことから、業務純益(※)は、前年同期比13億88百万円増加し、63億79百万円となりました。一方、企業収益の悪化を背景に不良債権処理額の増加もあり臨時損益が減少したことから経常利益は前年同期比5億6百万円増加し、31億48百万円となりました。

中間純利益は前年同期比2億46百万円増加し、27億35百万円となりました。

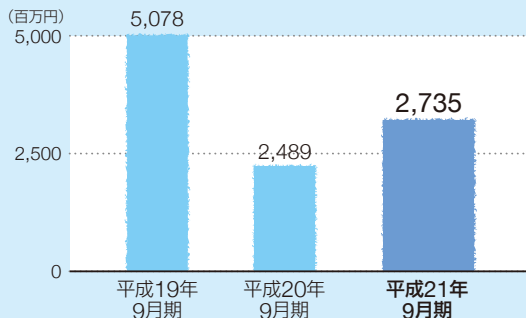
●業務純益



●経常利益



●中間純利益

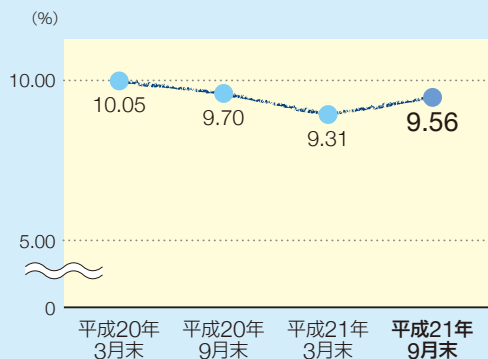


※業務純益(一般貸倒引当金繰入前)
業務純益から一般貸倒引当金繰入額を差し引いて算出しております。

自己資本比率

平成21年9月末の自己資本比率は、平成21年3月末比0.25ポイント上昇し、9.56%となりました。経営の効率性を示す経営指標である修正OHR(※)は、業務粗利益が増加する一方、物件費を中心に経費が減少したことなどから、67.34%と前年同期比3.54ポイント改善しました。また、収益性の高さを示すROA(※)は、コア業務純益の減少等により前年同期比0.09ポイント低下し0.58%となりました。

●自己資本比率



※平成19年3月末より新しい自己資本比率規制(バーゼルⅡ)に基づき算定しております。

◎自己資本比率算定明細表

(単位: %・百万円)

	平成21年3月末	平成21年9月末
1. 自己資本比率	9.31	9.56
2. 基本的項目	110,150	112,873
3. 補完的項目	10,769	11,200
(イ)うち自己資本に計上された再評価差額	—	—
(ロ)うち劣後ローン残高	6,340	6,340
4. 控除項目	154	201
5. 自己資本 2+3-4	120,765	123,873
6. リスクアセット	1,297,025	1,295,165
うちオンバランス	1,185,682	1,188,259
うちオフバランス	37,554	33,564
うちオペレーショナルリスク	73,787	73,341

※修正OHR(経費対修正業務粗利益率=経費÷業務粗利益(除く国債等債券売買損益)×100)

一定の業務粗利益を得るために、どの程度経費がかかっているかを表わす指標で、値が小さいほど経営の「効率」の高さを示しています。

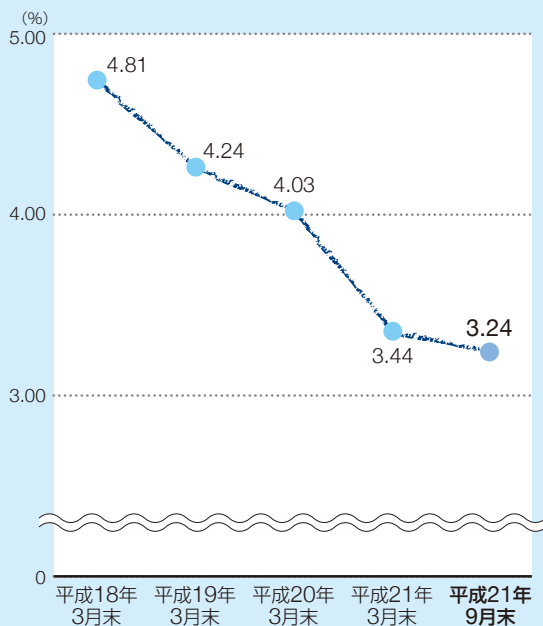
※ROA《コア業務純益ベース》(総資産利益率=コア業務純益÷総資産期中平残(除く支払承諾見返)×100)

投下された総資産が利益(コア業務純益)を得るために、どの程度効率的に利用されているかを表わす指標で、値が大きいほど経営の「収益性」の高さを示しています。

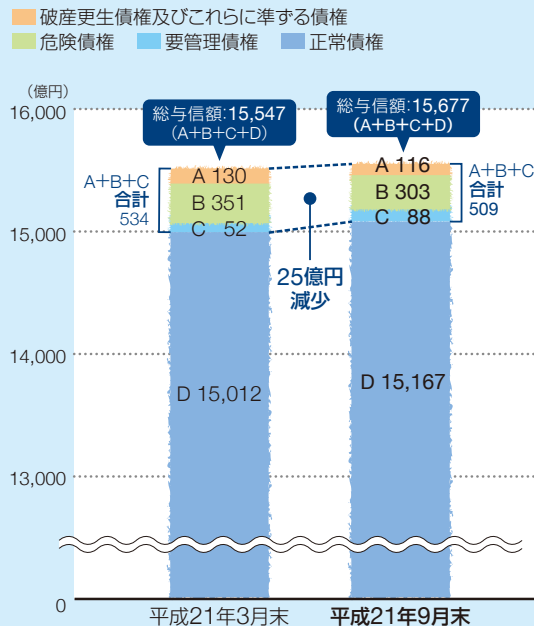
■ 経営改善支援の取組み等

経済環境悪化に伴い、「緊急保証制度」・「貸出条件緩和債権の要件緩和措置」の積極的な活用によるお取引先企業の資金繰り下支え(資金繰り破綻の防止)、景気後退局面を乗り切るための親身な相談・経営改善計画策定支援等によるお取引先企業の格付劣化防止に積極的に取組んでまいりました。このようななか、厳格な自己査定を実施した結果、平成21年9月末の開示債権残高は、平成21年3月末比25億円減少し509億円となりました。また、開示債権額が総与信に占める割合(開示債権比率)は、平成21年3月末比0.19ポイント低下し3.24%となりました。

●金融再生法に基づく開示債権比率



●金融再生法に基づく開示債権額比較



■ 営業店設備等の充実

10月には、馬橋支店において、全自動貸金庫を設置したほか、お客さま窓口やご相談ブース・ATMコーナー・営業室など全面的にリニューアルを行い、ご来店のお客さまが、より快適にそして安心してご利用いただけるようになりました。また11月24日には、入居中の建物の老朽化に伴い蘇我支店を新築移転いたしました。移転後の新店舗はJR蘇我駅西口ロータリーに隣接し、交通の便もよく、これまで以上に便利にご利用いただけます。また、屋上緑化や太陽光発電システムの導入、内装にはカーボンオフセットに対応したカーペットを使用するなど従来以上に環境保護を意識した店舗となっております。

今後も、お客さまに便利にご利用いただける地域への新規出店や新しい店舗形態等も積極的に検討していくとともに、老朽化した既存店舗について順次リニューアルを行って、お客さまの利便性向上に努めてまいります。

■ 格付け

当行は、中立的な第三者による評価を取得し公表することで、投資家の皆さまやお取引先の皆さまに財務内容の健全性や収益性などについてご理解いただくため、平成18年10月に株式会社日本格付研究所(JCR)から長期優先債務(※)格付けを取得し公表しております。平成21年11月に見直しを行い以下の通りとなっております。

格 付 け ▶ 「BBB(トリプルBフラット)」[据え置き]

格付け見通し ▶ 「安定的」「[ポジティブ]より変更」

(格付けの公表):平成21年11月20日

※長期優先債務:格付対象会社の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。

■ 利益配分に関する基本方針

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、健全経営を確保するため内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当に努めていくことを基本方針としております。

優先株式の配当 ▶ 当中間期の優先株式の配当につきましては、5月15日に公表のとおり、本年度末に一括配当とさせていただきます。

普通株式の配当 ▶ 当中間期の普通株式の配当につきましては、見送らせていただくことといたしました。

地域コーナー

地域のお客さまとお取引の状況

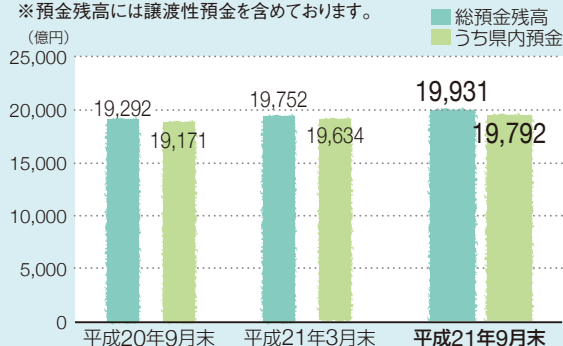
当行の預金の大半は地域のお客さまからお預りしております。そして、地域のお客さまからお預りした大切な預金の大半を県内の企業や個人のお客さまへの貸出に向けております。

また、平成21年9月末の県内保証協会保証付貸出金は10,886件の1,350億円となっております。

(注) 当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として表示しております。

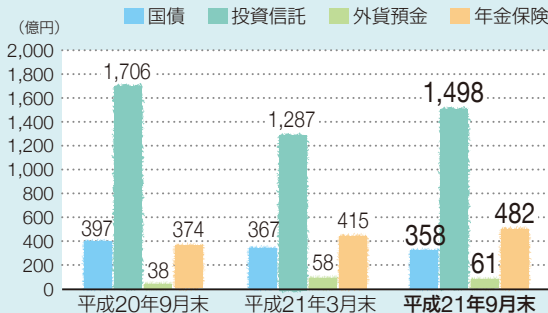
●預金残高等

※預金残高には譲渡性預金を含めております。

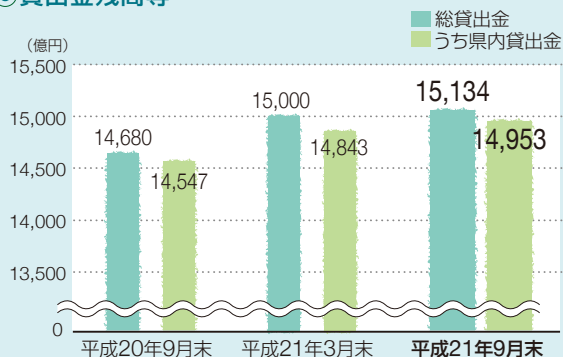


●県内の預り資産残高

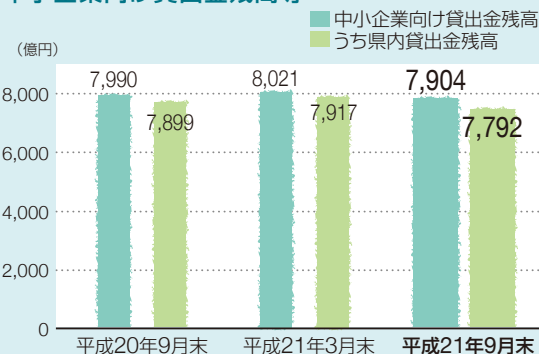
平成21年9月末の預り資産の大半が県内での預り資産です。



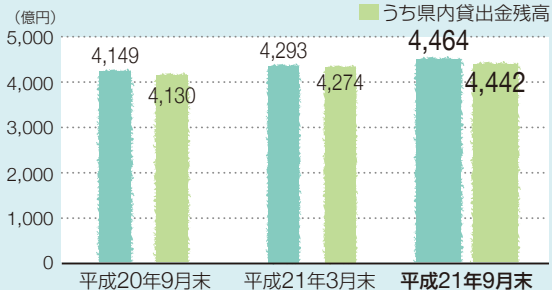
●貸出金残高等



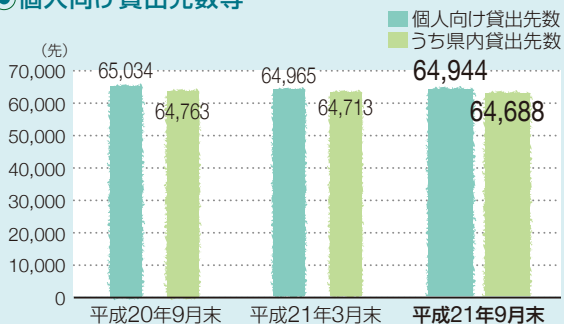
●中小企業向け貸出金残高等



●個人向け貸出金残高等

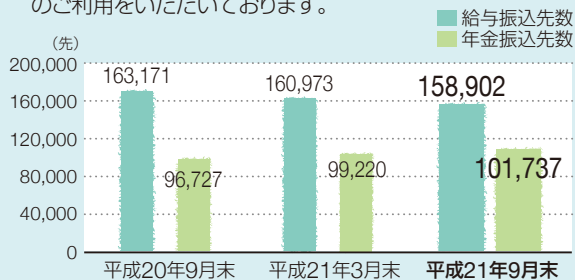


●個人向け貸出先数等



●給与振込・年金振込の口座数

給与振込や年金振込などについても、たくさんのお客さまのご利用をいただいております。



●業種別貸出金残高

当行は、それぞれの業種において、資金供給者として重要な役割を担っています。

(単位:億円)

平成21年9月末	貸出金残高	
		うち県内向け
製 造 業	1,602	1,546
農 業、林 業	46	46
漁 業	0	0
鉱業、採石業、砂利採取業	26	26
建 設 業	830	819
電気・ガス・熱供給・水道業	79	79
情 報 通 信 業	48	47
運 輸 業、郵 便 業	480	470
卸 売 業、小 売 業	1,877	1,846
金 融 業、保 険 業	606	602
不動産業、物品賃貸業	3,045	3,010
各 種 サ ー ビ ス 業	1,691	1,679
地 方 公 共 団 体	302	302
そ の 他	4,495	4,474
合 計	15,134	14,953

CSRの取組み～地域社会・地域経済への貢献～

次世代育成への取組み

当行では地域金融機関として、次世代育成支援に取り組んでいます。次世代育成支援対策の浸透を図ることで、地域社会の活性化、ひいては千葉県経済全体の発展につなげていきたい、との思いから各種取組みを行っております。

夏休み体験隊「サマーキッズスクール2009」の開催！

県内在住の小学校5・6年生を対象として8月に開催し、児童と保護者計60名が参加されました。1日目は、銀行やお金の仕組み等について学んでいただき、また、銀行内の貸金庫等の見学や実際に1億円の紙幣の束に触れるなどの体験をしていただきました。2日目は、千葉マリスタジアムにて試合のプログラム販売やオリジナルのマリーンズ応援Tシャツ作成などの「仕事体験」をしていただきました。また働いたお給料として当日スタジアム内で使えるチケットをお渡しし、2日間のカリキュラムの中で、「学ぶ」「働く」「使う」を通して、お金に関する理解を深めていただきました。



「平成21年度インターンシップ」の開催！

主に大学3年生を対象として8月に開催し、26名が参加されました。

6日間にわたるプログラムの中で、事例検討や営業店見学等を通じて銀行業務について理解を深めていただきました。また、チームごとに「銀行の新しい商品・サービスを企画する」というテーマに取り組み、発表会を実施しました。上記「サマーキッズスクール2009」の運営も体験し、学生の皆さんにとっては働くことや銀行の仕事を学ぶよいきっかけにいただけたようです。



「全国高校生金融経済クイズ選手権（エコノミクス甲子園）千葉大会」の開催！

社会に羽ばたく前の高校生を対象に、世の中がどのような金融経済の仕組みで動いているか理解して読み解き、自分の「ライフデザイン」や「お金との関わり方」について、クイズを通して考えるきっかけとするためのイベント「全国高校生金融経済クイズ選手権（エコノミクス甲子園）千葉大会」の記念すべき第1回大会を開催しました。

（後援：千葉県・千葉県教育委員会・千葉県金融広報委員会）



次世代経営者育成への取組み

ちば興銀「経営塾」

ちば興銀「経営塾」は、地元企業と次世代経営者育成支援の取組みのひとつとして、平成16年9月に設立いたしました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的を開催しております。これまでに100名を超える塾生が学び、昨年10月からは第三期生のプログラムがスタートいたしました。

最近の活動状況

- 21/6 人事労務セミナー
- 21/7 塾生間企業視察会
- 21/9 年次総会及び国内企業研究会&視察会
- 21/10 オーナー経営者のためのリスクマネジメント講座
(第一講・反社会的勢力対応セミナー)



中小企業へ向けた取組み

「次世代経営研究講座」「次世代リーダー革新講座」

地元中小企業の更なる発展を支援するため、経営の質を高めて業績向上・企業発展を目指す「経営品質向上プログラム」を紹介しております。本講座に先行し、関東経済産業局委託の地域力連携拠点事業として開催した「企業変革セミナー」の内容をさらに掘り下げ、実際にプログラムを活用して経営革新に取り組むためのサポート講座として開催いたしました。

- ・ 次世代経営研究講座 (2月～7月開催／全12回)
- ・ 次世代リーダー革新講座 (8月～9月開催／全5回)



文化・スポーツ活動

「美しい房総」写真展の開催

美しい郷土・風景をお楽しみいただこうと、JR千葉駅にて、季節にあわせ毎月3点の写真を展示しております。

また、当行の営業店でも随時展示しております。



「ちば興銀コスモスセミナー」の開催

「千葉県に関する知識・情報をお客さまと共有する」をコンセプトに、無料公開講座を年2回開催しており、毎回ご好評をいただいております。第11回は21年9月に「房総における古代の文字」をテーマに開催し、約80名のお客さまが受講されました。



コスモスコンサートの開催

地元の皆さまにクラシック音楽に親しんでいただけるよう、JR千葉駅前広場にて年2回(6月「祝・千葉県民の日」、10月「祝・千葉市民の日」)、ミニコンサートを16年連続で開催しております。



各種スポーツ大会への協賛

21年9月に、当行主催による「第20回千葉興業銀行杯親善ゲートボール大会」を、県内ゲートボール愛好家60チーム・約400名の参加により開催いたしました。

「千葉県障害者スポーツ大会」への協賛及び選手参加(5月)。その他県スポーツ振興財団への協賛をしております。



社会奉仕活動

小さな親切運動の推進

当行は、35都道府県が参加する全国的組織「小さな親切運動」の千葉県本部及び事務局として、県内の運動推進に努めております。「小さな親切」を実行した人に贈る「実行章」は、千葉県内で21年上期(4月～9月)において744名が受章されました(累計302千人以上で全国第2位)。

当行行員は全員会場で、清掃等のボランティア活動や寄付・募金活動を実施しております。



交通安全意識を啓蒙

当行と千葉日報社が共同で設立した「コスモス交通安全協力会」より、県内新中学一年生へスポークライト(自転車事故防止用反射板)8,500個を贈呈しております(15年間で延べ209,250個)。

また、県の交通安全推進委員会が推進する交通安全運動期間におけるポスターの全店掲示及び、交通安全リボンを全行員・スタッフが着用しております。



地域交流活動への積極的参加

春の県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフおよびその家族がボランティア参加しております。(全部室店参加 総数1,194名)

また、国道14号・357号沿線の16企業・団体を組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月沿道を清掃しております。(6か月延べ248名参加)



寄付活動

行員やお客さまから集めた不要衣料品を千葉県民間病院協会事務局の柏戸病院へ寄贈しております。

また、全店から集めた古切手・使用済テレカ等を、千葉市社会福祉協議会ボランティアセンターへ寄贈しております。これらは、障がい者への車椅子購入やボランティア活動資金に利用されております。

当行役職員による募金活動「ともしびの会」より、年末に県内の養護施設等へ浄財を寄贈しております。



トピックス

「ごちそう定期プラス」今年も発売! (平成21年11月)

毎年恒例となりました期間限定の懸賞品付定期預金「ごちそう定期プラス」の取扱いを開始いたしました。全国の名産品・銘品の中から好きな商品をお選びいただけるカタログ、または千葉県の名産品・銘品の詰め合わせセットが合計1,200本当たります。懸賞品に対するお客さまのご期待も大きく、毎回大変ご好評をいただいております。また、期間1年ものに限定されますが、同期間のスーパー定期預金の基準金利+0.03%の金利が適用され、有利な商品となっております。

*詳細については、「商品概要説明書」(当行ホームページにも掲載)をご覧ください。



ちば興銀は千葉ロッテマリーンズを応援しています!

「ちば興銀スペシャルナイター」開催! (平成21年8月29日)

地元球団である「千葉ロッテマリーンズ」を応援しているちば興銀では、今年もマッチデーを実施。公式ファンクラブであるTEAM26との共同企画にてイベント等を行いました。ちば興銀ブースでは、TEAM26ジュニア会員等に観戦チケットなどがあたるガラポン抽選会に挑戦していただきました。景品の中には、ここでしか手に入らないマリーンズ・ちば興銀のダブルネームタオルもあり、大変ご好評をいただきました。



「コスモスローン・マイカー」金利割引制度の実施! (平成21年10月)

～「ハイブリッド車」「福祉車両」ご購入者対象～

「コスモスローン・マイカー」において「ハイブリッド車・福祉車両ご購入者対象金利割引制度」を期間限定で実施いたしております。

近年の地球温暖化防止、自然環境保護が話題となる中、特に自動車業界では環境に優しい自動車（エコカー）の期間限定自動車重量税等減税制度もあり、マイカーをご購入される方においては、エコカー、中でもハイブリッド車に対する関心が高まっております。また、最近はお高齢の方、お身体に障がいのある方の自動車の乗り降りや運転に対応した設備を搭載した福祉車両の需要が増えつつあります。このような中、ハイブリッド車または福祉車両をご購入されるお客さまを対象とした金利割引制度を実施し、ご利用いただきやすい商品といたしました。

*詳細については、「商品概要説明書」(当行ホームページにも掲載)をご覧ください。



「地銀住宅ローン共同研究会」への参加!

住宅ローンビジネスについては、今後、商品の多様化がさらに進むものと予想されます。住宅ローン商品の共同開発や共同プロモーションの実施、業務の合理化・高度化につながる手法の研究等を行い、お客さまのニーズを重視した付加価値の高い商品を、低コストで地域のお客さまに広く提供するため、平成20年5月1日に設立された「地銀住宅ローン共同研究会」に参加いたしております。

同研究会企画商品である**女性専用住宅ローン「ゆとりな」**や、同研究会企画サービスである**住宅ローン利用者向けサービス「ホップ・ステップ・住まいる」**の取扱いを開始。いずれも住宅ローン福利厚生専門会社である、株式会社リラックス・コミュニケーションズが提供するライフサポートサービス「Club Off」の各種特典が付帯されており、国内外のホテルやレジャー施設、家事代行サービス・医療施設などが優待価格(*)でご利用いただけます。

*「Club Off」の優待は、「ゆとりな」が住宅ローンのお借入れから原則として5年間、「ホップ・ステップ・住まいる」は原則として住宅ローンのお借入れが終わるまでとなります。

*詳細については、「商品概要説明書」(当行ホームページにも掲載)をご覧ください。



エコ(eco)でやさしい店づくり

～蘇我支店・新築移転!(平成21年11月24日)～

3つのコンセプト(「お客さまにやさしい」・「地域にやさしい」・「環境にやさしい」)に基づいて、「エコ(eco)でやさしい店づくり」をテーマに、これまで以上にご利用いただきやすい店舗といたしました。「お客さまにやさしい」店づくりとして、点字ブロックや多目的トイレの設置のほか、バリアフリー対応としております。「地域にやさしい」店づくりとして、地域の皆さまとの交流に利用できるセミナールームや、365日利用可能な全自動貸金庫を備えております。また、「環境にやさしい」店づくりとしては、太陽光発電システムや屋上緑化システムの導入、カーボンオフセットの認証を受けているカーペットを採用するなど、積極的に環境負荷の低減に努めております。



「指静脈認証ICキャッシュカード」取扱い中!

キャッシュカードの偽造・盗難被害からお客さまの大切なご預金をお守りするため、「指静脈認証ICキャッシュカード」の取扱いをいたしております。

「指静脈認証ICキャッシュカード」は、偽造やスキミングが困難なICチップに指静脈情報を登録し、ATM取引時に専用の認証機にて、暗証番号による認証に加え、指静脈情報を照合して本人の確認を行うセキュリティの高いカードです。発行手数料無料(*)でご利用いただけます。

※更新手続きも不要です。既にご利用中の「指静脈認証ICキャッシュカード」は更新手続きなしで引き続きご利用いただけます。

なお、平成19年5月から各金融機関の間でIC／生体キャッシュカード相互利用ができるようになったことから、提携金融機関の指静脈認証対応ATM及びIC対応ATMでのご利用が可能です。



「お客さまにやさしい」店づくり

お体のご不自由なお客さまやご高齢のお客さまの利便性向上を目指した店づくりを進めております。

ATMコーナーや店頭カウンター等でお手続きをされる際に杖が倒れないように固定する「杖ホルダー」を設置いたしております。

また、視覚障がいのお客さまでも操作が可能な「視覚障がい者対応ATM」を設置いたしました。ATM付属のハンドセット（受話器）から流れる操作誘導の音声ガイダンスに従い、ハンドセットについたテンキーボタンにて操作いただけます。お預入れ・お引出し・残高照会・通帳記入のお取引でご利用いただけるもので、今後、順次設置台数を増やしていく予定です。

聴力の補助が必要なお客さまやご高齢のお客さまに配慮したコミュニケーションツールとしては、全店に「筆談器」「助聴器」を設置いたしております。

筆談器は、聴力の補助が必要なお客さまやご高齢のお客さまが窓口等で会話される際にご利用いただけます。助聴器は、コンパクトな手のひらサイズで、必要なときだけ本体のスイッチを入れ、耳に当てていただくと音声を拡大するものです。

ちば興銀ではこれからもお客さまにご利用しやすく、やさしい店づくりをすすめてまいります。



杖ホルダー



ハンドセット(受話器)



筆談器



助聴器

財務諸表

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

◎第88期中(平成21年9月30日現在) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	33,893	預 金	1,985,246
コールローン	45,000	譲渡性預金	7,900
買入金銭債権	13,498	借 用 金	9,700
商品有価証券	159	外国為替	60
有価証券	485,869	その他負債	15,427
貸出金	1,513,474	未払法人税等	136
外国為替	2,260	リース債務	550
その他資産	11,550	その他の負債	14,741
有形固定資産	18,401	退職給付引当金	4,659
無形固定資産	1,684	役員退職慰労引当金	38
繰延税金資産	25,394	睡眠預金払戻損失引当金	372
支払承諾見返	25,537	支 払 承 諾	25,537
貸倒引当金	△12,065	負 債 の 部 合 計	2,048,942
資 産 の 部 合 計	2,164,661	(純資産の部)	
		資 本 金	57,941
		資本剰余金	32,792
		資本準備金	32,792
		利益剰余金	23,754
		利益準備金	2,439
		その他利益剰余金	21,314
		繰越利益剰余金	21,314
		自 己 株 式	△62
		株 主 資 本 合 計	114,426
		その他有価証券評価差額金	1,292
		評価・換算差額等合計	1,292
		純 資 産 の 部 合 計	115,719
		負債及び純資産の部合計	2,164,661

◎第88期中(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで) 中間損益計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	23,037
資金運用収益	18,501
(うち貸出金利息)	(15,032)
(うち有価証券利息配当金)	(3,266)
役務取引等収益	2,956
その他業務収益	1,331
その他経常収益	247
経 常 費 用	19,889
資金調達費用	2,088
(うち預金利息)	(1,928)
役務取引等費用	1,778
その他業務費用	400
営 業 経 費	12,590
その他経常費用	3,030
経 常 利 益	3,148
特 別 利 益	480
特 別 損 失	72
税引前中間純利益	3,556
法人税、住民税及び事業税	26
法人税等調整額	794
法人税等合計	820
中 間 純 利 益	2,735

◎第88期中(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで) 中間株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
株 主 資 本		自 己 株 式	
資 本 金		前 期 未 残 高	△60
前 期 未 残 高	57,941	当中間期変動額	
当中間期変動額	—	自己株式の取得	△1
当中間期変動額合計	—	当中間期変動額合計	△1
当中間期末残高	57,941	当中間期末残高	△62
資 本 剰 余 金		株主資本合計	
資 本 準 備 金		前 期 未 残 高	113,112
前 期 未 残 高	32,792	当中間期変動額	
当中間期変動額	—	剰余金の配当	△1,419
当中間期変動額合計	—	中間純利益	2,735
当中間期末残高	32,792	自己株式の取得	△1
資本剰余金合計		当中間期変動額合計	1,314
前 期 未 残 高	32,792	当中間期末残高	114,426
当中間期変動額	—	評 価 ・ 換 算 差 額 等	
当中間期変動額合計	—	その他有価証券評価差額金	
当中間期末残高	32,792	前 期 未 残 高	△11,037
利 益 剰 余 金		当中間期変動額	
利 益 準 備 金		株主資本以外の項目の	
前 期 未 残 高	2,155	当中間期変動額(純額)	12,329
当中間期変動額		当中間期変動額合計	12,329
剰余金の配当	283	当中間期末残高	1,292
当中間期変動額合計	283	評価・換算差額等合計	
当中間期末残高	2,439	前 期 未 残 高	△11,037
その他利益剰余金		当中間期変動額	
繰越利益剰余金		株主資本以外の項目の	
前 期 未 残 高	20,282	当中間期変動額(純額)	12,329
当中間期変動額		当中間期変動額合計	12,329
剰余金の配当	△1,703	当中間期末残高	1,292
中間純利益	2,735	純 資 産 合 計	
当中間期変動額合計	1,032	前 期 未 残 高	102,074
当中間期末残高	21,314	当中間期変動額	
利益剰余金合計		剰余金の配当	△1,419
前 期 未 残 高	22,437	中間純利益	2,735
当中間期変動額		自己株式の取得	△1
剰余金の配当	△1,419	株主資本以外の項目の	
当中間期変動額合計	2,735	当中間期変動額(純額)	12,329
当中間期末残高	1,316	当中間期変動額合計	13,644
当中間期末残高	23,754	当中間期末残高	115,719

●第88期中(平成21年9月30日現在)

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	34,635	預 金	1,979,482
コールローン及び買入手形	45,000	譲渡性預金	7,900
買入金銭債権	13,499	借 用 金	16,497
商品有価証券	159	外国為替	60
有価証券	485,394	その他負債	21,337
貸出金	1,506,894	退職給付引当金	4,801
外国為替	2,260	役員退職慰労引当金	74
その他資産	32,180	睡眠預金払戻損失引当金	372
有形固定資産	18,769	支払承諾	43,680
無形固定資産	1,774	負債の部合計	2,074,206
繰延税金資産	25,686	(純資産の部)	
支払承諾見返	43,680	資 本 金	57,941
貸倒引当金	△16,110	資本剰余金	32,792
資産の部合計	2,193,825	利益剰余金	26,424
		自己株式	△62
		株主資本合計	117,097
		その他有価証券評価差額金	1,298
		評価・換算差額等合計	1,298
		少数株主持分	1,223
		純資産の部合計	119,619
		負債及び純資産の部合計	2,193,825

●第88期中(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

中間連結損益計算書(単位:百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	27,168
資金運用収益	18,334
(うち貸出金利息)	(15,051)
(うち有価証券利息配当金)	(3,069)
役務取引等収益	3,346
その他業務収益	1,331
その他経常収益	4,155
経 常 費 用	23,885
資金調達費用	2,154
(うち預金利息)	(1,924)
役務取引等費用	1,250
その他業務費用	400
営 業 経 費	12,767
その他経常費用	7,313
経 常 利 益	3,283
特 別 利 益	487
特 別 損 失	72
税金等調整前中間純利益	3,698
法人税、住民税及び事業税	138
法人税等調整額	720
法人税等合計	858
少数株主利益	53
中 間 純 利 益	2,785

●第88期中(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

中間連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
株 主 資 本		評 価 ・ 換 算 差 額 等	
資 本 金		その他有価証券評価差額金	
前期末残高	57,941	前期末残高	△11,035
当中間期変動額	—	当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—	株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	12,333
資本剰余金		当中間期変動額合計	12,333
前期末残高	32,792	当中間期末残高	1,298
当中間期変動額	—	評価・換算差額等合計	
当中間期変動額合計	—	前期末残高	△11,035
利益剰余金		当中間期変動額	
前期末残高	25,058	株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	12,333
当中間期変動額		当中間期変動額合計	12,333
剰余金の配当	△1,419	当中間期末残高	1,298
中間純利益	2,785	少 数 株 主 持 分	
当中間期変動額合計	1,366	前期末残高	1,114
当中間期末残高	26,424	当中間期変動額	
自 己 株 式		株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	109
前期末残高	△60	当中間期変動額合計	109
当中間期変動額		当中間期末残高	1,223
自己株式の取得	△1	純 資 産 合 計	
当中間期変動額合計	△1	前期末残高	105,811
当中間期末残高	△62	当中間期変動額	
株主資本合計		剰余金の配当	△1,419
前期末残高	115,732	中間純利益	2,785
当中間期変動額		自己株式の取得	△1
剰余金の配当	△1,419	株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	12,442
中間純利益	2,785	当中間期変動額合計	13,807
自己株式の取得	△1	当中間期末残高	119,619
当中間期変動額合計	1,365		
当中間期末残高	117,097		

役員・株式の状況

役員 (平成21年11月30日現在)

取締役頭取・CEO	青柳	俊一
取締役副頭取・COO	佐久間	信一
専務取締役・専務執行役員	星野	智史
常務取締役・常務執行役員	安良	博男
常勤監査役	安田	達央
常勤監査役	奥田	行雄
監査役	小口	弘史
監査役	佐藤	英夫

(注) 監査役小口弘史および監査役佐藤英夫の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況 (平成21年9月30日現在)

① 株式数

株式の種類	発行可能株式総数	発行済株式の総数
普通株式	138,750千株	50,722千株
第一回第一種優先株式	1,250千株	1,250千株
第二回第二種優先株式	5,000千株	5,000千株
第三回第三種優先株式	35,000千株	17,150千株

② 株主数

普通株式	12,558名
第一回第一種優先株式	2名
第二回第二種優先株式	2名
第三回第三種優先株式	1名

③ 大株主

株式の種類	氏名又は名称	持株数 (千株)	持株比率 (%)
普通株式	株式会社みずほコーポレート銀行	4,791	9.45
	株式会社みずほ銀行	4,791	9.45
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,238	4.41
	株式会社損害保険ジャパン	2,199	4.34
	明治安田生命保険相互会社	2,158	4.25
	坂本飼料株式会社	1,242	2.45
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,197	2.36
	みずほ信託銀行株式会社	926	1.82
	東京海上日動火災保険株式会社	692	1.36
第一回第一種優先株式	株式会社みずほコーポレート銀行	625	50.00
	株式会社みずほ銀行	625	50.00
第二回第二種優先株式	株式会社みずほコーポレート銀行	2,500	50.00
	株式会社みずほ銀行	2,500	50.00
第三回第三種優先株式	株式会社整理回収機構	17,150	100.00

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
3. 普通株式の持株比率は自己株式(50,530株)を控除して、算出しております。

株式のご案内

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 配当受領
株主確定日 期末配当:毎年3月31日
中間配当:毎年9月30日
- 定時株主総会 毎事業年度終了後3か月以内に開催
- 基準日 定時株主総会については、毎年3月31日
その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日
- 単元株式数 100株
- 公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞
なお、決算公告につきましては、
当行ホームページの下記アドレスに
掲載いたします。
<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/toushi/ir/koukoku.html>

- 株式事務取扱場所
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店 証券代行部

手続きのお申出先

	特別口座の場合	証券会社に口座をお持ちの場合
郵便物 送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4	お取引の証券会社になります。
電話お問い 合わせ先	0120-288-324 (フリーダイヤル)	
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店	
ご注意	単元未満の買取以外の株式 売買はできません。電子化 前に名義書換を失念して お手元に他人名義の株券 がある場合は至急ご連絡 ください。	未払配当金の支払、 支払明細発行に ついては、 左の「特別口座の 場合」の郵便物 送付先・電話お問い 合わせ先・お取扱店を ご利用ください。

株主様のご住所・お名前等に関する文字についてのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。

株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

なお、特別口座にて管理させていただいております株主様には、平成21年2月に「特別口座開設のご案内」をお送りしており、そのご案内の中のご注意事項で使用文字の制限についてご案内しております。



〒261-0001 千葉市美浜区幸町二丁目1番2号

TEL.043-243-2111

<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>



このミニディスクロージャー誌は環境に配慮した
植物性大豆油インキを使用しています。